

埼玉アートシアター通信

S A I T A M A A R T S T H E A T E R P R E S S

2012.5-6

NO. 39



『Nameless Poison ~黒衣の僧』より

Nameless Voice ~水の庭、砂の家

彩の国シェイクスピア・シリーズ第26弾『トロイラスとクレシダ』

井上ひさしの名作『しみじみ日本・乃木大将』／N響が誘うベートーヴェンの“傑作の森”

2012.5-6
NO. 39

- 03 **PLAY** 彩の国シェイクスピア・シリーズ第26弾
『トロイラスとクレシダ』
松岡和子に聞くみどころ／観劇前のマメ知識
- 07 **PLAY** 待ってました! 松竹大歌舞伎『義経千本桜』
- 08 **PLAY** 井上ひさしの名作、登場『しみじみ日本・乃木大将』
- 10 **DANCE** システム カスタフィオール
『スタンド・アローン・ゾーン』
サイレント・シアターへようこそ ～カール・ビスキューに聞く
- 11 **DANCE** Noism1 新作公演
『Nameless Voice ～水の庭、砂の家』
金森 穰 インタビュー
- 14 **MUSIC** ベートーヴェンの“傑作の森”『NHK交響楽団』in 埼玉会館
- 16 **MUSIC** 夏休みに親子で楽しむ とっておきのコンサート×2
熊谷会館ファミリー・クラシック 夏休みオーケストラ!
彩の国さいたま芸術劇場ファミリー・コンサート 宮川彬良&アンサンブル・ベガ
- 17 **COLUMN** アーティストの原点05 井上道義
- 18 **REVIEW** 2012.2-4 彩の国のアーツ
- 20 イベント・カレンダー／チケットインフォメーション
彩の国シネマスタジオ
- 23 THEATER BRIDGE



COVER
Noism1
見世物小屋シリーズ第2弾『Nameless Poison ～黒衣の僧』(2009年)より
Photo◎村井 勇

SAITAMA ARTS THEATER PRESS 2012.5-6 No.39
編集◎市川安紀 [アルカディア社]、結城美穂子 デザイン◎中野一弘 [bueno]

©公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団
Published on 15. May 2012 All Rights Reserved by Saitama Arts Foundation
※掲載情報は、2012年4月20日現在のものです。公演は追加および一部変更される場合がありますので、ご了承ください。



『お気に召すまま』2004年 Photo◎高梨光司



『間違いの喜劇』2006年 Photo◎高梨光司



『恋の骨折り損』2007年 Photo◎江川誠志



『から騒ぎ』2008年 Photo◎田中亜紀

彩の国シェイクスピア・シリーズ第26弾

『トロイラスとクレシダ』
Troilus and Cressida

彩の国シェイクスピア・シリーズの中でも人気の高い
「オールメール・シリーズ」が2年ぶりに登場する。
しかもこれまでの喜劇路線から一転、
シェイクスピアの中でも「問題劇」とも呼ばれる悲劇に挑戦する新展開。
そこには愛と裏切り、名誉と欲望が渦巻くドラマが待っている。



『じゃじゃ馬馴らし』2010年 Photo◎清田征剛

シェイクスピア先生、 人生って苦い ものですね。



『トロイラスとクレシダ』の一場面。トロイラスはクレシダの裏切りを目撃してしまう 18世紀末/アンゲリカ・カウフマン画

— 翻訳・松岡和子に聞く『トロイラスとクレシダ』のツボ —

シェイクスピアが活躍した時代そのままに、女性の役もすべて俳優が演じる当劇場名物、オールメール・シリーズ。

にぎやかな笑いに満ちた恋の騒動は多くの観客の心をとりにしてきたが、今度はどうやら人生の苦さをかみしめることになりそうだ。恋人クレシダの罪作りの美しさに翻弄されるトロイラスの運命やいかに？

取材・文◎市川安紀



偶像破壊と幻滅の悲劇

『シンペリン』から約3カ月という短いスパンで登場するシェイクスピア・シリーズ最新作『トロイラスとクレシダ』。『シンペリン』では波乱万丈すぎる展開をみごとに感動的な舞台に仕立てた蜷川幸雄が、今度はオールメール初の悲劇をどう魅せてくれるのか、期待が高まる。まずは観劇の序章として、翻訳者から見た『トロイラス〜』のツボを教えてもらおう。

『シンペリン』はご都合主義とも言える作品ですが、そこに説得力があると「奇跡」になるということ、蜷川さんの演出で目の当りにしました。当初は「戯曲としてはあまりいい出来じゃない」なんておっしゃっていたのに、やっぱり蜷川さんが考えることは凄いですよね。

『シンペリン』が子供にも分かるおとぎ話だとしたら、『トロイラス〜』は正反対。ひねりの効いた、大人のための作品です。カテゴリーとしては悲劇の範疇に入りますが、「主人公が死なない悲劇」というのは、

シェイクスピアの中にはないんですよ。どう解釈したらいいかわからないという学者もいて、「問題劇」とも言われます。

『トロイラス〜』はシェイクスピアが『ハムレット』を書いた直後、1602年頃に書かれた作品とされている。材源は当時広く知られていたショーサーの『トロイルスとクリセイデ』や、ホメロスの叙事詩『イリアス』の翻訳本などだ。背景となっているのは、ギリシャ神話に登場するトロイ戦争。トロイとギリシャとの戦いは、10年の長きに及んだ。本作ではトロイ戦争末期、トロイの王子トロイラスと神官の娘クレシダの恋物語を縦糸に、トロイ・ギリシャ両軍の駆け引きや権謀術数、内部抗争といった武将たちの人間模様も絡めて描かれていく。

私が思うに、『トロイラス〜』は「偶像破壊と幻滅の悲劇」ですね。アキレウス、ユリシーズ、アガメムノンといったギリシャ劇でもおなじみの英雄たちがたくさん登場するんですが、これがことごとく

英雄神話をひっぺがされるんですよ。情けなかったり、ダメ男だったり。彼らは名誉だの、戦争の大義だのについて延々と議論を重ねるんですが、「英雄」と崇め奉られるような「偶像」にはどう考えてもふさわしくない。そんな人々が名誉を論じるなんて、皮肉です。ギリシャ神話の時代の物語とはいえ、登場する人間たちは、ものすごく現代的ですね。

そんな人々の中で、トロイラスは、一番純粋な人物です。言い換えれば、トロイラス以外は全員、不純(笑)。「A」を目指すと言いつつ、実はまったく違うところを目指しているような人々の中で、彼ひとり「A」を目指すと言ったら、本当に目指す。「不純」の中で「純」が怒り狂って、滅びていくお芝居とも考えられますね。

クレシダは不実な女か？

「純」ひとすじのトロイラスとは対照的に、永遠の愛を誓い合ったはずのクレシダは、あっけなく一晩で彼を裏切ってしまう。シェイクスピアの時代、クレシダ

といえば「不実な女」の代名詞といえる存在だった。

クレシダは本心ではトロイラスが好き、という「純」な部分も持っているはずなんです。ところが、トロイ側からギリシャ方に寝返った父親のせいで、ギリシャ軍に引き渡されてしまう。そこで生きていくためには、女の武器を使って「不純」側に転ばざるを得なかったと思うんですね。

ギリシャに着いた時に、クレシダが次々とギリシャの武将たちの挨拶を受ける場面があるんですが、これがもう、何とも言えず妖しいんですよ。ひとりひとりと挨拶する度に、彼女の「純」なものが捨てられていく感じがして。最終的には武将のひとりディオメデスと密会しているところを、トロイラスに目撃されてしまいます。

恋人の裏切りを目の当たりにしたトロイラスの苦悩はいかばかりか。「あれはクレシダであってクレシダでない」という有名な台詞は、そんな彼の心の叫びだ。

シェイクスピア・シリーズをずっと観続けている私の周りの若手の学者さんたちの間では、「月川悠貴さんでクレシダを観たい」という声以前からあったんです。クレシダというのはちょっと女性が共感しにくい役ですし、女優さんがやるのは難しい部分も多いと思うんですね。となれば、やっぱりオールメールしかないでしょう、と。月川君のたまたまはクレシダ役にピッタリとハマるんじゃないかというのが、シェイクスピアを読み込んでいる人たちの共通意見です。山本裕典さんも『じゃじゃ馬馴らし』での真っ直ぐな若者がピッタリだったので、このコンビはとっても楽しみです。

2人を取り巻く人物たちも個性派ぞろいだ。トロイラスの兄弟たちや、百戦錬磨のギリシャの武将たちが、武闘派・頭脳派それぞれに人間くさい姿をかみ見せる。

周りには本当に面白い人物が多くて、特に2人の恋の取り持ちをするクレシダの叔父のパンダロスや、痛烈な毒舌を吐

く道化のテルシテスには注目です。でも、やっぱり一番可哀想なのはトロイラスですね。自分の中に生きている「純」なクレシダであってほしいという願望を込めつつ、そうではなくなってしまった彼女を目の当りにしちゃうんですから。しかも、その悔しさを爆発させて死んでいくというような、カタルシスも封じられているんです。

とにかくこれは、愛にも戦争にも幻滅させられる作品です。やっぱり人生って、苦いものなんですよ。そう考えれば考えるほど、『シンペリン』と同じ人が書いたとは思えませんね(笑)。

STORY

トロイ戦争のさなか、トロイ方からギリシャに寝返った神官の娘クレシダ(月川悠貴)に狂おしいほど思いを寄せるトロイの王子トロイラス(山本裕典)は、彼女の叔父パンダロス(小野武彦)を通して求愛する。めでたく2人は結ばれ、永遠の愛を誓い合う。ところが、捕虜交換により、クレシダは敵国ギリシャ軍へ送られることになった。到着するやいなや、ギリシャの武将たちの気をそるクレシダ。時が経ち、軍使としてギリシャ陣営を訪れたトロイラスが見たものは、新たな恋人と抱き合っているクレシダの姿だった――。

『トロイラスとクレシダ』を楽しむレッスン

本作で注目すべきは、主人公2人の恋物語だけではない。登場人物たちの名前をよく見ると、どこかで聞き覚えのある有名人たちもそこそこに、知っていればより楽しめる、観劇前のミニ・レッスン。

Lesson 1 美女誘拐から戦争勃発!

そもそもトロイ戦争とは、ギリシャ神話で繰り返し語られる戦争のこと。ホメロスの二大叙事詩『イリアス』と『オデュッセイア』でよく知られる。長らく伝説上の戦争とされてきたが、19世紀末、現在のトルコ北西部でトロイの遺跡が発掘され、にわかには真実味を帯びようになった。紀元前1250年頃に起きた大規模な戦争という説もあるが、確証を得るには至らず。

神話上での戦争の発端は、トロイの王子パリス(トロイラスの兄)が、ギリシャのスパルタ王メネラオスの美しい妃ヘレネを誘拐したことに始まる。怒ったメネラオスは(当然だ)ヘレネ奪回のため、兄のアガメムノンを総大将にトロイ遠征へ。以降、実に10年に及ぶ戦争が繰り返されることとなった。クレシダもギリシャの武将たちを軒並みとりこにする魅力の持ち主だが、戦争を引き起こすほどのヘレネの魔性っぷりは群を抜いている。『トロイラス〜』にちらりと登場するヘレネはかなりワガママな軽薄女で、女性の反感を買うのは必至?

Lesson 2 武将たちのキャラが濃い

戦争を起こした張本人のパリス、トロイ随一の勇将と讃えられるヘクトルは、共にトロイラスの兄。一方のギリシャ方には、全軍を率いるアガメムノンを筆頭に、冷静沈着な知恵者のユリシーズ(ギリシャ読みだとオデュッセウス)、高慢な英雄アキレウス、クレシダの誘惑にまんまと墮ちるディオメデスなど、個性豊かな武将たちが登場する。味方同士といえども一枚岩ではなく、「アイツをこれ以上つけあがらせないためにどうするか」などと、組織内での足の引っ張り合いも見られて興味深い。『トロイラス〜』では彼らの駆け引きと人物描写にも重きがおかれているのが特徴だ。

Lesson 3 チョーサーの『トロイルスとクリセイデ』とどう違う?

トロイラスとクレシダの恋物語についてシェイクスピアが下敷きにしたのが、14世紀に書かれたチョーサーの『トロイルスとクリセイデ』。叔父が恋を取り持つこと、クリセイデの裏切りなどの大枠は活かしているが、クリセイデがギリシャの武将に再三言い寄られ、心細さも募って「やむなく」裏切ること、絶望したトロイルスが戦死する点が大きく違う。『トロイラス〜』でのクレシダは、自らギリシャの武将たちに色目を使うし、トロイラスも激しく打ちめされるものの死にはしない。シェイクスピア作品には、よりリアルな苦さが漂っている。

公演概要

彩の国シェイクスピア・シリーズ第26弾
『トロイラスとクレシダ』

日時: 8月17日(金)~9月2日(日)

2012	8/17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	9/1	2
	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
13:00		★	★	休	★	★	★		★	★	休	★	★	◎		★	★
18:30	★			休				★	★		休			◎	★	★	

◎: 映像収録のため場内にカメラを設置いたします。

会場: 彩の国さいたま芸術劇場 大ホール
演出: 蜷川幸雄
作: W. シェイクスピア
翻訳: 松岡和子
出演: 山本裕典、月川悠貴、細貝圭、長田成哉、佐藤祐基、塩谷瞬、内田滋、廣田高志、横田栄司、塾一久、鈴木豊、星智也、原康義、たかお鷹、小野武彦 ほか
チケット(税込)
一般: S席8,000円/A席6,000円/B席4,000円/学生B席2,000円
メンバーズ: S席7,200円/A席5,400円/B席3,600円
発売日: 一般5月19日(土) ※メンバーズ発売中



山本裕典



月川悠貴



細貝圭



長田成哉



佐藤祐基



塩谷瞬



内田滋



廣田高志



横田栄司



塾一久



鈴木豊



星智也



原康義



たかお鷹



小野武彦

松竹大歌舞伎

待ってました!

『義経千本桜』三幕



松竹大歌舞伎が熊谷会館に帰ってくる! 三大名作のひとつ『義経千本桜』から、狐忠信を中心にした人気の物語が登場する。昼夜で配役が入れ替わるお楽しみもあり。歌舞伎通も初心者も、スペシャルな1日をお見逃しなく。

【ポイント】は静御前の「鼓」

なぜ狐が静御前のお供をしているのか? そのナゾを解く鍵は静が義経から預かった「初音の鼓」。狐忠信はこの鼓の皮にされてしまった(!)狐の子で、親を恋慕うあまりの行動だった。静が打つ鼓の音に耳を傾ける仕草が何とも可愛い。血を分けた兄弟でも争いを繰り返す人間社会とは裏腹に、狐の世界は深い親子の絆で結ばれている、という身につまされるお話。



会見では「三大名作の中でも明るくて夢がある。団結力で頑張ります」と菊五郎。「道行初音旅」の忠信では時蔵の静御前と。「鳥居前」「川連法眼館」の忠信を昼夜交替で演じる松緑と菊之助は、「劇場にいる時間だけでも夢を見ていただけたら」(松緑)。「初役なので身が引き締まる思い。狐の親子の情を大切に勤めたい」(菊之助)。

松竹大歌舞伎 『義経千本桜』三幕

日時: 7月8日(日) 昼の部 12:00 夜の部 17:00
会場: 熊谷会館
演出: 『義経千本桜』三幕 「鳥居前」「道行初音旅」「川連法眼館」
出演: 尾上菊五郎、中村時蔵、尾上松緑、尾上菊之助 ほか
佐藤忠信実演は源九郎狐 / 昼の部: 「鳥居前」松緑、「道行初音旅」菊五郎、「川連法眼館」菊之助 / 夜の部: 「鳥居前」菊之助、「道行初音旅」菊五郎、「川連法眼館」松緑 / 静御前: 「鳥居前」中村梅枝、「道行初音旅」時蔵、「川連法眼館」梅枝
チケット(税込) 好評発売中
一般: 特等席6,000円/一等席4,500円/二等席2,000円 / おためし席1,000円
メンバーズ: 特等席5,400円/一等席4,100円
※当日は熊谷駅から熊谷会館間の臨時バスを運行します

★蜷川幸雄公開対談シリーズ NINAGAWA 千の目第25回 in 熊谷 尾上菊之助(歌舞伎俳優)×蜷川幸雄(演出家)を開催! 詳細はP.23をご覧ください。

『しみじみ日本・乃木大将』



数々の名作を世に送り出した劇作家・井上ひさしの傑作が21年ぶりに登場！
日露戦争の英雄として「聖将」と称される一方、「愚将」とも評された乃木希典。
その肖像を重厚に描く……なんて凡百のアプローチを不世出の劇作家がするはずもなく、
何と主人公は〈乃木大将の愛馬たちの「足」!〉という奇想天外ぶりだ。
笑わせるだけ笑わせて、ふと我に返ると日本が歩んだ近代国家の有り様がずしんと響く。
井上作品をたびたび手がけている蜷川幸雄による演出にも注目だ。
読売文学賞・紀伊國屋演劇賞を受賞した本作の魅力、今村忠純氏に解説していただいた。

馬の足の寓意——今村忠純(大妻女子大学教授)

乃木將軍は、愛馬のオス馬3頭に今生の別れを告げるために厩舎を訪れる。大鉢につみあげたカステラを捧げ持って、つき従うのは静子夫人。カステラは馬の大好物だった。

馬たちはいち早く「乃木大将閣下が明治天皇のみあとを慕い殉死なさろうとしている」ことを察知した。思えば將軍の一生

は、いつどこで死のうかと、死に時と死に場所を探し求める一生だった。そういえば將軍のふるまいには、いちいちしみじみ思ひあたる場所があったというのだ。

そこで近所の顔見知りのメス馬2頭もくわわり、乃木將軍の一生をふり返り、これを再建していく。馬たちによる馬たちのための劇中劇が始まる、という趣向が『しみ

じみ日本・乃木大将』の劇場の機知である。

5頭の馬たちの馬体が分解する。人格ならぬ馬格が分裂する。ありきたりの回想劇、伝記劇とは百も二百もことなっている。井上ひさしの奇想から生れた仰天の劇である。同時にこの劇は、馬たち一頭一頭の運命をうらなう劇ですらあるのだ。乃木殉死後の、それからの馬たちの消息を知るの

馬の足たちが語り、
馬の足たちが歌い、

馬の足たちが
又こわぎを出す!!

がエピローグである。

馬格分裂とは、すなわち馬の前足と後足のそれぞれがいれかわりたちかわり馬格を主張し対立することに通じていた。馬の前足と後足とが足なみをそろえなければ、馬の足は用を足さない。

馬の足のそのもとは、歌舞伎で張り子の馬の前と後に一人ずつ入り、それぞれの前足と後足になるその役をいう。馬の足とは、まだ売れていない役者のことをさしており、転じてへたな役者のことをいう、またつまらない役については、別に馬の後足といったりもする。

この劇は、馬の前足と後足とが、ものをいい、歌を歌い、乃木將軍の一生を演じてみせるというのがミソであり、そこが重要なのだ。馬芝居だから、ズッコける。足なみがそろわない。足なみが乱れる。かくして『しみじみ日本・乃木大将』の全11場は、さながらノンストップのコント見本市であり、とことん観客を笑いのめしてしまうのだ。井上ひさしはこの劇に、浅草フランス座の文芸部員兼進行係として、そこで学んだ舞台進行のメカニズムと、また放送作家としてテレビヴァラエティショウ、スタジオショウでみがきあげたショウ文法をぎっしりつめこんでいる。

乃木は西南戦争で連隊旗を奪われた。

たしかにこれは大失態ではあったが、そもそもなぜ連隊旗が《天皇陛下の御分身》にまでなったのか。連隊旗のごときはもともと誰も鼻もひっかけなかった。じっさい乃木もそうだったというのである。そこで馬の足たちは全員で『春が来た』(文部省唱歌)のかえ歌を歌う。「幕があく 幕があく ここであく」と歌うのだ。

乃木は官舎に戻ってくるなり連隊旗に足をひっかけぶっ飛ばし、またこれで鼻をチーンとかんだりもする。副官は茶碗を蹴とばし、ひっくり返したお茶を無作法にも連隊旗で拭いたりする始末である。「あの男に何回、お茶をひっかけられたかわかりません」「四回です」「すくなくとも七、八回ひっかけられたと思うがなあ」「いや、四回です」。つまりこれはルーティンのギャグのネタばらしなのだ。

またメス馬のはなぶさの前足と後足の児玉源太郎(朝海ひかる)と山県有朋(香寿たつき)が、宝塚の『ベルサイユのばら』風のアクセサリーをつけ、鈴付星形板を振りながら『一寸法師』(小学唱歌)のかえ歌を歌うレビューもどきの第6場は、さながらヴォードヴィルの逸品である。

こうしてこの劇は、数々の笑いの手法を動員し、武人の型を完成させるために明治天皇のあとを追って殉死した乃木大将の

軍神一代記に迫っていく。乃木ばかりではない、明治という時代は、さまざまな場所で、さまざまな人々が、それぞれの型を演じ、その型を完成させ、周囲の手本たらんとつとめた時代であり、それが国家の仕事だったというのである。井上ひさしは、そのように明治天皇にいわせていた。

別言すれば、国家あげて乱れた馬の足なみをそろえさせた時代、それが明治という時代だったのである。近代日本が戦場にあなたの軍馬を送り出した戦争の世紀、二十世紀が始まっていた。馬の足の寓意については、もはや説明するまでもない。

夏目漱石や森鷗外などによる、明治天皇の死、また乃木殉死への言及は少なくない。井上ひさしはそこに、いわば明治という時代に相対死した乃木伝説に、日本近代国家の成立の装置を洞察していたのである。

STORY

明治天皇大葬の日の夕刻。大帝に殉死することを決意した陸軍大将乃木希典が、静子夫人と共に、自邸の厩舎の前で3頭の愛馬に別れを告げている。夫妻のただならぬ様子に異変を感じた愛馬たちは、突如として人の言葉でしゃべりだす。しかも、あろうことか3頭それぞれが前足と後足に分裂し、あわせて6つの「人格」ならぬ「馬格」となって動き出したのだ。勝手気ままに語り出す愛馬たちに、やがて近所で飼われている2頭のメス馬も加わり――。

登場人物・役名順

こと [壽號(ことぶきごう)の前足]
／陸軍大将乃木希典閣下……………風間杜夫
ぶき [壽號(ことぶきごう)の後足]
／明治四十四年九月一日朝の乃木將軍……………吉田鋼太郎
あら [環號(あらたまごう)の前足]
／副官／桂太郎……………山崎一
たま [環號(あらたまごう)の後足]
／村田三介……………六平直政
乃の字 [乃木號(のぎごう)の前足]
／玉木正誼／赤胴虻之助／明治大帝……………大石継太
木の字 [乃木號(のぎごう)の後足]
／千田少尉……………大川ヒロキ
くれ [隣邸のメス馬紅號(くれないごう)の前足]
／乃木大将夫人静子様／皇后……………根岸季衣
ない [隣邸のメス馬紅號(くれないごう)の後足]……………都築香弥子
はな [近くの馬車屋のメス馬英號(はなぶさごう)の前足]
／児玉源太郎……………朝海ひかる
ぶさ [近くの馬車屋のメス馬英號(はなぶさごう)の後足]
／山県有朋……………香寿たつき
感心な辻占売りの本多武松少年……………岡部恭子

公演概要

井上ひさし生誕77フェスティバル 2012

こまつ座&ホリプロ公演

『しみじみ日本・乃木大将』

日 時：7月12日(木)～29日(日)

7月	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
	木	金	土	日	祝	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
13:30			★	★	★	休	★	★	★	★	★	★	休	★	★	★	★	★
18:30	★	★				演		★		★			演		★		★	

会 場：彩の国さいたま芸術劇場 大ホール

作：井上ひさし

演出：蜷川幸雄

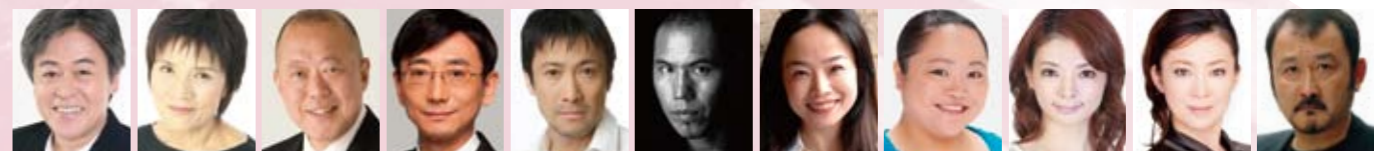
出演：風間杜夫、根岸季衣、六平直政、山崎一、大石継太、大川ヒロキ、都築香弥子、岡部恭子、朝海ひかる、香寿たつき、吉田鋼太郎 ほか

チケット(税込) 好評発売中

一般：S席8,400円/A席6,300円/B席5,250円

メンバーズ：S席7,850円/A席5,900円/B席5,000円

※本公演は当日券のメンバーズ割引はございません。お支払いは現金のみとなります。予めご了承ください。



風間杜夫 根岸季衣 六平直政 山崎一 大石継太 大川ヒロキ 都築香弥子 岡部恭子(さいたまキャストリーダー) 朝海ひかる 香寿たつき 吉田鋼太郎

システム カスタフィオール 『スタンド・アローン・ゾーン』 サイレント・シアターへようこそ

フランスのアーティスト集団、システム カスタフィオールがこの夏日本初上陸！CG映像と実像を巧みに織り交ぜ描かれる、知られざるその作品世界とは……？演出家のカール・ビスキュイに聞いた。
文◎小野寺悦子（舞踊ライター）

芸術の垣根を越えて

記念すべき日本初上演作に選ばれたのは、システム カスタフィオールの代表作『スタンド・アローン・ゾーン』。物語の舞台は2813年秋、文明の終焉を迎えた未来都市。人間は地球から離れ、天上の地に隠れ家を見つける。遺跡を思わせるコンクリートの迷路に、四方八方に広がる廃墟、「ゾーン」の奥には世界の秘密が隠され——。現実とファンタジーが交錯する、妖しく美しい物語。その発想の由来を、舞台演出家のカール・ビスキュイはこう話す。

「創作にあたってまず着目したのが、アニメーション映画や実験的ビデオアート、テレビゲームなどにみられる新進の映像技術。これらのデジタルアートを演劇やダンスに取り入れたら新たな表現方法が生まれるのでは、未来の芸術表現を作り出すことができるのではと考えたのがきっかけでした」

映像、演劇、音楽、そしてダンス。ステージは、ジャンルの垣根を越えた複雑なアート・プロジェクトで構築される。幾多の分野から芸術的要素を抽出し、モチーフの断片をひ

とつのフォルムへ集約。多角的なアプローチを行うことで、観客のイメージーションに働きかけてゆくという。

「さまざまな様式を織り交ぜたダンスと、ダンサーの声を体現していく音楽、舞台空間の新たな可能性を切り開くデジタル映像。それぞれの要素が効果を発揮し合うことにより、ひとつの舞台芸術の中で何通りもの見方を可能にしています」

作品に潜むメッセージ

映像と実像を巧みに織り交ぜた、異色のサイレント・シアター。マイムを思わせるパフォーマンスの動きもユニークで、特異なキャラクターたちに不可思議な魅力を注ぐ。振付を手がけるのは、ビスキュイと共にシステム カスタフィオールを束ねる振付家のマルシア・バルセロス。鍛え上げたダンサーの肉体にあえて抑制の所作を課し、ステージ上に静謐な幻想世界を描き出す。

「我々のスペクタクルでは、ダンサーは自身を誇示することなく、ステージ全体の構成を意識しなければなりません。複雑な世界を表

現するためには、ひとつひとつの動きと作品の結びつきを考慮する必要があります。物語の中で、彼らは動きと音を同調させ、声を体現します。身体のあるがままを使い、表現します。その意味では、自由と寛容の精神を伝える役割を担っていると言えるでしょう」

作中は、映画監督のアンドレイ・タルコフスキーや宮崎駿から受けたというインスピレーションの断片も潜ませる。それは、フロイト的精神世界であり、詩情であり、無重力感であり、メタファーでもあり……。次々と景色を変え、観る者を迷宮へと誘う幻影のステージ。その根底に一貫してあるのは、類をみない創造性。独自の芸術哲学を背景に、イリュージョンに満ちた寓話世界が形作られる。ビスキュイは言う。「システム カスタフィオールの活動は、人間と人間の将来を信じることから始まっています。そのベースには、芸術こそが絶望や残虐行為に立ち向かうための最後の手段だと考えるユートピア的発想があります。私たちにあって芸術作品は、ヒューマンイズムのひとつの形。ステージを通し、観る人の心を魅了する魔法を模索し続けているのです」

Systeme Castafiore



Photo © Karl Biscuit

Photo © Karl Biscuit

公演概要

システム カスタフィオール
『Stand Alone Zone
～スタンド・アローン・ゾーン』

日時：6月23日(土) 開演15:00
※上演時間：約1時間10分／途中休憩なし
会場：彩の国さいたま芸術劇場 大ホール
演出・CG・音楽：カール・ビスキュイ
振付：マルシア・バルセロス
出演：システム カスタフィオール(4名)
初演：2009年

チケット(税込) 好評発売中
一般：S席3,000円／A席2,500円／学生(高校生以上)2,500円／子ども(小・中学生)1,000円
メンバーズ：S席2,500円 ※A席は場面によって舞台の一部が見切れる可能性があります。予めご了承ください。

共同主催：東京日仏学院

Noism 1 新作公演
見世物小屋シリーズ第3弾
見世物小屋シリーズ3部作完結編

『Nameless Voice ~水の庭、砂の家』

金森 穰 インタビュー



金森 穰 Jo Kanamori

演出振付家、舞踊家。リューとびあ新潟市民芸術文化会館 舞踊部門芸術監督 / Noism 芸術監督。ルードラ・ベジャール・ローザンヌにて、モーリス・ベジャールらに師事。ネザールランド・ダンス・シアターII、リヨン・オペラ座バレエ、ヨーテポリ・バレエを経て帰国。2004年4月、リューとびあ舞踊部門芸術監督に就任し、日本初の劇場専属舞踊団 Noism を立ち上げる。平成19年度芸術選奨文部科学大臣賞、平成20年度新潟日報文化賞ほか受賞歴多数。
www.jokanamori.com

Photo◎中島正之

Kanamori

演出振付家 金森穰率いる Noism (ノイズム / リューとびあ新潟市民芸術文化会館劇場専属舞踊団) が、2008年から発表している「見世物小屋」シリーズの第3作を引っさげ、満を持して彩の国さいたま芸術劇場に初登場する。

聞き手◎佐藤まいみ (公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団 ダンスプロデューサー)

Jo Kanamori



Photo © 中島正之

抽象的でない生々しい肉体

——「見世物小屋」シリーズの第1作目はそれまでのむしろ抽象的な作品に比べるとより具体的に肉体が生々しく登場しています。このような作風に切り替えた動機は？

第1作『Nameless Hands ～人形の家』を発表したとき、意外とそれまでとは違う何か新しいことを始めたと思えられたんだけど、原点に帰ったにすぎないんです。ベジャールのところで作っていた作品、NDT(ネザーランド・ダンス・シアター)のワークショップで作っていた作品と近いんです。あの頃は、生々しかったり感情をもち出すような感じの作品を作っていました。逆に言えば、当時は抽象化する技法を知らなかった。言いたいこと、抑えきれない感情があって作っていたんです。いろいろな作品を踊るうちに抽象化することに芽生えたというか、抽象化してみることに創作意欲をかき立てられるようになりました。

『Nameless Hands』を作ったのは2008年で、Noismを続けていくうちにベジャールの死もあり、自分の原点に戻ろう、と思った時期だったんです。プロとして作品を作り出してからちょうど10年たった時です。たまたま舞踊家を全部人形にしちゃって動かしたらおもしろいんじゃないかと思ったんだけど、ベジャールの死と原点に帰ろうという気持ちがなければ、そのアイデアはもっともっと抽象的になっていたと思います。曲選びも、もうこの曲誰かが過去に使ってる、なんていうことは気にせず、自分がものを作りたいという衝動に素直になって曲から何かを感じたら使おうと思っていましたね。

“Nameless”の意味するもの

——「見世物小屋」シリーズでは作品名にみな“Nameless”がついています。“Nameless”にはどのような思いを込めたのでしょうか。

汗も飛んでくる、目の動きですら表現として感じられる見世物小屋というものすごく近い距離ですべてを見ているはずなのに、そこにはないなにか、ないけれども確かに感じるもの、そういう名付けられないものの存在を強く感じるんです。また、そういう狭い領域に自分を押し込めて、いかにそこから飛び出してどこかにつながるか……ここじゃないどこかにつながりたいという欲求がすごく強いんです。そういう衝動や欲求は名付けようがない。

今回の『Nameless Voice』は、見世物小屋シリーズ完結というよりも名もなきシリーズ完結と言った方がいいかもしれません。名付けられないものをテーマにした名もなきシリーズはいったん完結したいんです。第1作はパーソナルな一個人の話から始まり、第2作は人と人との関係性、今回の完結編第3作は、人を取り巻く環境にまで飛躍していく。そうして一つ円を閉じて次に行きたいんです。

Nameless Poison

見世物小屋シリーズ第2弾『Nameless Poison ～黒衣の僧』(2009年)より Photo © 村井 勇



これを作らずして次に進めない

——タイトルに「水」が入っています。

世界的に見てもそうですが、地球環境について意識しないで生きていくことはできなくなっています。具体的にすべての疑問に対して向かっていくというのではなく、自分なりの、Noismなりの問題提起をしたい。「名付けられないものに翻弄される人間」について一緒に考える機会となってほしい。これを作らずして次の作品は作れないと感じています。

それから環境問題だけではなく、どんどん言語化していく今の舞踊に対して、今、我々なりに言語と舞踊について向き合えないと次には進めないんじゃないかと考えています。この言語と舞踊の間に流れる水についても問題提起をしたい。舞踊作品の中で、言語がすごく当たり前に使われるようになっていきますよね。どの舞踊を見ても“コンテ”※と呼ばれる作品では、いまや

しゃべることが驚きでもなんでもない。お客さんも全く驚きはしない。当たり前になってきているけれど、意外と金森作品ではしゃべっていないんです。今回は、自分なりの言語との向き合い方を提示したい。そのきっかけとなるのが「科学と自然」で、「言語と身体」の関係をどう提示するかが自分の中では近い問題としてあるんです。数値化できないことを数値化するのが科学でしょう？言語を用いてある特定の意味を持たせる……もの言わぬ身体と言語がどう関係性でお客さんの中で享受されるのかなとか、そんなことを考えています。

——第1作から時間が経っています。メンバーも変わってきています。作り方も変わってきているのでしょうか。

第1作は、作っていくプロセスで、メンバーからは非難轟々でした。なんでこんなに理解されないんだろうと、振付家としては一番つらかった作品です。当時のあのメンバーが自分にとってのベストメンバーだし、彼らだからこそ作った作品だったんですが、はからずも振付家の孤独をものすごく味わうことになりました。今回は、「言語」のことも意識にあってメンバーにアンケートをとっているんです。人間としての彼らがいなければ想起されない声とかがあるわけで、それらが作るプロセスで反映されるかもしれない。だから同じ作り方で別の舞踊家たちと作ったら、現れるものはちがってきますよね。

3作品一気に再演したいという思いがあるんです。できれば映像化したいと考えています。

—— Noism、埼玉初登場になります。ドキドキしながら7月を楽しみに待っています。

Photo © 中島正之



※「コンテンポラリーダンス」の略



見世物小屋シリーズ第1弾『Nameless Hands ～人形の家』(2008年)より Photo © 篠山紀信

Nameless Hands

見世物小屋シリーズ第1弾『Nameless Hands ～人形の家』(2010年・再演)より Photo © 村井 勇

公演概要

リューとぴあレジデンシャル・ダンス・カンパニー
Noism1 新作公演
見世物小屋シリーズ 第3弾
見世物小屋シリーズ 3 部作完結編
『Nameless Voice ～水の庭、砂の家』

日 時：7月6日(金) 開演19:30 7日(土)・8日(日) 開演16:00
会 場：彩の国さいたま芸術劇場 小ホール
演出振付：金森 稔
出 演：Noism1
初 演：2012年6月29日(新潟)
チケット(税込) 好評発売中
一 般：4,500円 学生3,000円
メンバーズ：4,100円



ベートーヴェンの“傑作の森” 『NHK交響楽団』 in 埼玉会館

毎回好評の埼玉会館でのNHK交響楽団演奏会。今回は、指揮者に井上道義、ソリストに近年来日公演が続いているヴァイオリニスト、オリヴィエ・シャルリエを迎えてオール・ベートーヴェン・プログラムを組む。ベートーヴェン中期の傑作2作品を楽しめる贅沢なコンサートだ。

公演概要

NHK 交響楽団 井上道義(指揮) オリヴィエ・シャルリエ(ヴァイオリン)

日 時：6月24日(日) 開演16:00
※15:25～15:40 指揮者によるプレコンサート・トークあり
会 場：埼玉会館 大ホール
曲 目：ベートーヴェン／ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品61
交響曲第6番 へ長調 作品68「田園」
※予定枚数終了

今年も埼玉会館にNHK交響楽団がやって来る。2012年は井上道義の指揮、フランスの実力派ヴァイオリニスト、オリヴィエ・シャルリエが共演して、ベートーヴェンの傑作2曲を演奏する。

日本を代表する指揮者として、国内外で活躍する井上道義。オーケストラ・アンサンブル金沢の音楽監督として、北陸だけでなく日本全国で演奏会を行うなど、その活躍ぶりは全国に鳴り響いている。また日比谷公会堂での「ショスタコーヴィチ交響曲全曲演奏プロジェクト」など、ユニークな企画の中心となって活動を続けている。N響とも長い付き合いで、その信頼関係は深い。

ヴァイオリニストのオリヴィエ・シャルリエはパリ国立高等音楽院の教授としても有名だが、フランス的なヴァイオリン演奏の伝統を受け継ぐ存在として、その演奏にも常に注目が集まっている。素晴らしい音色と、柔軟なフレージングによる生き生きとした音楽作りを身上としている。今回は井上のたつたの希望で共演することになったという。

井上道義 (指揮)

Michiyoshi Inoue, Conductor

1946年東京生まれ。桐朋学園大学卒業。ニュージーランド国立響首席客演指揮者、新日本フィル音楽監督、京都市響音楽監督兼常任指揮者を経て、2007年よりオーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督、ならびに石川県立音楽堂アーティストック・アドバイザーに就任。2010年、『京都市文化功労賞』、社団法人企業メセナ協議会『音もてなし賞』受賞。ラ・フォル・ジュルネ金沢を含む多くの実験的企画を敢行し続けている。
<http://www.michiyoshi-inoue.com/>



© Orchestra Ensemble Kanazawa



© Caroline Doutré / TRANSART LIVE

オリヴィエ・シャルリエ (ヴァイオリン)

Olivier Charlier, violin

フランス出身。弱冠10歳でパリ国立高等音楽院に入学。ユーディ・メニューイン、ヘンリック・シェリングら大家たちから才能を認められ、熱心な支援を受ける。ミュンヘン国際コンクールにて17歳で第3位に輝いたのち、数々の国際コンクールに入賞。洗練された透明な音色と円熟した輝かしい演奏が高く評価されている。近年、BBCフィルと協力し、新作の初演や演奏機会の少ない作品の紹介、無名な作品の再評価にも力を入れている。使用楽器は1747年製カルロ・ベルゴンツィ。

Michiyoshi Inoue Olivier Charlier

さて、そのふたりがN響に加わっての演奏曲目は、ベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲と交響曲第6番「田園」である。いずれもベートーヴェンの傑作として知られているが、ヴァイオリン協奏曲は1806年の初演、「田園」は1808年の初演で、作曲された時期はかなり近い。

ヴァイオリン協奏曲は、ベートーヴェンが完成した唯一のヴァイオリンのための協奏曲で、19世紀の初めの作品ということを見ると、相当に大規模な作品である。ベートーヴェンの友人でもあったヴァイオリニスト、フランツ・クレメントが初演を担当した。しかし、その規模の大きさのせい、なかなか演奏されることがなく、19世紀後半に巨匠ヨーゼフ・ヨアヒムが積極的に再演したことで、ようやくその真価を評価されることになった。そのヨアヒムがカデンツァを書いている他、アウアー、クライスラーなどのカデンツァが有名である。

ベートーヴェン自身は、ヴァイオリン協奏曲のためにはカデンツァを書いていない。しかし、1807年にクレメンティに勧められて、このヴァイオリン協奏曲をピアノ協奏曲に編曲した時には、ティンパニ付きの長大なカデンツァを書いている。現在では、そのピアノ用カデンツァをさらに編曲

してヴァイオリンで演奏するヴァイオリニストも現れている。本来の楽章だけでなく、どんなカデンツァが演奏されるのか、そこにも注目したい。

ヴァイオリン協奏曲は、特に第1楽章が雄大な楽想を持っている。ティンパニに導かれて、伸びやかな主題が登場する第1楽章。オーケストラとソロ・ヴァイオリンは、常に語り合うように寄り添っていく。第2楽章は美しいラルゲット。そして第3楽章のロンドは明るく前向きで、作曲当時のベートーヴェンの生命力を感じさせる。

いわゆる“傑作の森”(ロマン・ロランによる表現)と呼ばれるベートーヴェンの作曲活動の最盛期は、1804年の交響曲第3番「英雄」以降の約10年間のことを言う。その時期には交響曲が第8番まで書かれ、それ以外にもピアノ・ソナタ、ピアノ協奏曲などの傑作が次々と発表された時代だ。その中でもハイライトと言えるのが、交響曲第5番「運命」と交響曲第6番「田園」を一緒に初演した1808年だろう。この2曲はピアノ協奏曲第4番などと共に初演されたのだが、この演奏会は4時間もかかったと言われている。ベートーヴェンのピカピカの新作をたっぶり聞いた(聞かされた?)当時の聴衆は、一体どんな想いを抱いただろう。

その初演の時には、「田園」のほうが交響曲第5番とされていた。各楽章に標題を付け、さらには第3楽章から第5楽章は続けて演奏される。そんな斬新な構成によって書かれた交響曲は、おそらく当時の聴衆にとっては、かなり驚きに満ちていただろう。第4楽章の雷雨、嵐の表現は、単に自然の荒々しさを表現しただけでなく、ベートーヴェンを襲った様々な悲劇をも想像させる。そして第5楽章では、自然への畏敬と感謝が大らかに歌われる。それは悲劇の時もベートーヴェンを励ましてくれたウィーン近郊の美しい自然とその風景に対する、深い感謝の気持ちをも表現しているようだ。

そんな風に「田園」を聞いていくと、ベートーヴェンという人の印象も少し変わってくる。いろいろな証言によると、ベートーヴェンは気難しだけでなく、人付き合いが好きで、冗談を言ったり、友人をびっくりさせたりするのが好きだったようだ。そんな温かい一面も見えてくる。また、自分の芸術家としての運命について深く考える姿勢も。NHK交響楽団と井上道義による演奏で、「田園」からどんな風景が見えてくるか。その真摯な演奏から、聞こえてくるベートーヴェンの声に耳を傾けよう。



夏休みに音楽を 親子で楽しむとっておきの2公演

「夏休みオーケストラランド!」で
オーケストラ・サウンドを体感!

東京交響楽団は、夏休みに親子で楽しめる公演を平成18年から毎年、熊谷会館と埼玉会館で交互に行っている。

今年は飯森範親の指揮によるバーンスタインの《キャンディード》序曲で始まり、ワーグナーの《ローエングリン》第3幕への前奏曲などオーケストラをフルに使った曲のほか、毎回好評の“指揮者にチャレンジ!”コーナーやオーケストラと共演する機会もある。オーケストラと共演できる曲は久石譲作曲『となりのトトロ』より〈さんぽ〉。誰もが知っている人気曲を自宅から持ってきた楽器でオーケストラと一緒に演奏してもいいし、元気に歌ってもいい。また、開場中にエンタリーして当選すれば、ビゼーの《カルメン》前奏曲を指揮することもできる。ホール中に響き渡るオーケストラの分厚い音をしっかり聴いた後、そのオーケストラと一緒に演奏できるのは貴重な体験となるにちがいない。またゲストに中学1年生のヴァイオリニスト服部百音が登壇、ワックスマンの《カルメン幻想曲》を

熊谷会館 ファミリー・クラシック 夏休みオーケストラ! 彩の国さいたま芸術劇場 ファミリー・コンサート 宮川彬良&アンサンブル・ベガ

この夏、親子でおでかけ気分が気軽に音楽に触れられる公演がある。熊谷会館で行われる『夏休みオーケストラ!』ではオーケストラの魅力をたっぷり楽しみ、参加コーナーも用意。『宮川彬良&アンサンブル・ベガ』の会場は彩の国さいたま芸術劇場で、内容・時間の異なるコンサートを2種類準備してお客様の来場を待っている。

演奏する。同世代の気鋭ヴァイオリニストの超絶技巧に驚嘆するのまた良い経験。コンサートのナビゲーターは朝岡聡、軽妙なおしゃべりにのせてリラックスして楽しめるだろう。

上質なエンタテインメント として楽しめる 「宮川彬良&アンサンブル・ベガ」

NHK Eテレ『クインテット』でおなじみの、宮川彬良が語りながら進行していくこの演奏会、おもしろくないわけがない。さまざまなオーケストラなどから8名の首席奏者らが集まったこのアンサンブル・ベ

ガ(弦楽器5名、管楽器3名)と宮川とがタッグを組むと、少人数ながらクラシックにとどまらずジャズ、ポピュラー、童謡となんでも自在に、しかも極上の演奏を聴かせてくれる。1日限りの公演だが、午前中は3歳以上の子供から入れる休憩なし70分のプログラムと、午後は小学生以上を対象とした休憩を含む2時間のプログラムの2公演を用意してくれている。

宮川の編曲で次々とテンポよく奏でられる美しいメロディと抱腹絶倒のトーク……いわゆる演奏曲目をやさしく解説してくれるお話し付きのファミリーコンサートではなく、大人も満足できるエンタテインメント・ショーと考えた方がいいだろう。今回はどのような構成で楽しませてくれるのか、大いに期待して出かけた。



公演概要

熊谷会館ファミリー・クラシック 夏休みオーケストラ!

日 時: 7月29日(日) 開演15:00
会 場: 熊谷会館
出 演: 飯森範親(指揮) 朝岡聡(ナビゲーター)
服部百音(ヴァイオリン) 東京交響楽団(管弦楽)
曲 目: バーンスタイン/《キャンディード》序曲
小室昌広/ディズニーのメロディーによる管弦楽入門
ワックスマン/カルメン幻想曲 ※ヴァイオリン:服部百音
ワーグナー/《ローエングリン》第3幕への前奏曲
~指揮者にチャレンジ!~ ※公演当日、開演前に参加者を募集(抽選)
ビゼー/《カルメン》前奏曲
~みんなで歌おう&演奏しよう!~
※歌や楽器でオーケストラと共演。好きな楽器をご持参ください。
久石譲/映画『となりのトトロ』より〈さんぽ〉
サン=サーンス/死の舞踏
チケット(税込) 好評発売中
一 般: 大人S席3,500円/A席3,000円
子ども(3歳~中学生) S席1,500円/A席1,000円
メンバーズ: 大人S席3,200円/A席2,700円
※3歳以上入場可



公演概要

彩の国さいたま芸術劇場ファミリー・コンサート 宮川彬良&アンサンブル・ベガ

日 時: 8月11日(土)
①開演11:30(休憩なし/12:40終演予定) ※3歳以上入場可
②開演16:00(休憩あり/18:00終演予定) ※小学生以上入場可
会 場: 彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
出 演: 宮川彬良(音楽監督・作編曲・ピアノ)
アンサンブル・ベガ(ヴァイオリン2、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、
クラリネット、ファゴット、ホルン)
曲 目: ①チャイコフスキー/四羽の白鳥の踊り
チャーチル/『白雪姫』メドレー ほか
②ドビュッシー/亜麻色の髪の乙女
宮川彬良/バレエ音楽~ジャン・コクトー『墮天使の恋』より~
チケット(税込) 好評発売中
①一 般: 大人3,000円 子ども(3歳~中学生) 1,500円
メンバーズ: 大人2,700円
②一 般: 大人4,000円 子ども(小・中学生) 2,000円
メンバーズ: 大人3,600円

アーティスト の原点

vol. 05

指揮者 井上道義

6月24日に埼玉会館にてヴァイオリニスト、オリヴィエ・シャルリエをゲストに迎え、NHK交響楽団を指揮する井上道義さん。バレエを18歳まで習っていたせいか舞うように指揮するその姿は、紡ぎ出す音楽と同様、美しく華麗です。どのような思いで指揮者になることを決心されたのか、お話をうかがいました。

取材・文◎結城美穂子

© Orchestra Ensemble Kanazawa



14歳で指揮者になると決意

僕が中学3年生の時、父親から突然「中学が終わったらどうやって食べて行くのか?」と聞かれました。僕の父は、両親(僕の祖父母)が広島からのアメリカ移民だったのでアメリカで育ち、禁酒法の時代に職を失った親を支え、シカゴで2年間アルバイトして学費を稼いで大学を卒業したというドラマチックな人生をおくっていたんです。そのことを初めて母親から聞いてとても驚きました。父は授業料を出さないのではなく、将来何になりたいかの目標をきちんと話して、理由があれば高校に行かせてもらえるのだと母から聞かされました。もうそれは強制的に将来について考えました。数カ月間、寿司職人だとか本当にいろいろな職業を書き出しては消す、の繰り返しで真剣に考え続けました。結局指揮者になると宣言して納得してもらい、レッスンを始めることになりました。ピアニストは、ピアノに向かってこう、自分の世界に入っていく感じですね、作曲家はあたりまえだけれどたくさん曲を書かなければならない。けれども僕は書くのが遅いから無理だと思います。指揮者に向かっての人生ならその時までの自分も大改造出来ると感じたのです。そして今でも少しずつ改造し続けています。



デビューした頃の若きマエストロ(ご本人提供)

それまでもピアノのレッスンは続けていました。最初のピアノの先生は室井摩耶子先生です。一日30分、イヤイヤやっていました。室井先生は今もご健在でももちろん現役です。その次に習ったのが山岡優子先生でした。始めは先生は僕の家の近所にいらっしゃいましたが、すぐに2時間もかかる場所に引っ越ししてしまいました。でもまじめに通いましたよ。すごく厳しかったです。泣いて帰ってきた事も、何度もありました。でもおかげで桐朋音大の指揮科に合格し、斎藤秀雄先生に指揮を習うことができました。斎藤先生には7年間教わりました。

若き日のマエストロ

ミラノ・スカラ座グイド・カンテルリ指揮者コンクールで優勝してそのあと、当時シュトゥットガルト放送交響楽団の音楽監督を務めていたセルジュ・チェリビダッケ先生に習うチャンスに恵まれました。それまでもどんな指揮者を見てもまいと思わなかったんですが、当時のチェリビダッケ先生は一言で言うと、存在感そのものが真にかっこよかった。重力に逆らわない指揮法で、技術的にも整理されていて強く惹きつけられました。レッスンを受けてから何年かして僕もプロとして活動し始めた26歳の頃、先生を訪ねて行ったことがあったんです。それ

れまではいつも大歓迎してくれていたんですが、なぜか入り口でも何言わずにドアをバタンと閉められ、中に入れてもらえなかった。もうなぜだかわからなくて呆然としましたね。あのとき、チェリビダッケ先生は言いました、「まだ早すぎる!」と。

しばらくは世界中あちこちで指揮しました。ロンドンに5年いて、29歳の時の日本フィルハーモニー交響楽団の定期演奏会から、日本でも指揮をし始めました。

そしてこれから

昨年もセミステージ形式でのマスカーニのオペラ《イリス》を再演しました。今までも演出をかなりやっています。桐朋ではオペラをやらなかったの、あるとき1年間仕事を休んで欧州で勉強しなおした過去もあります。これからさまざまな形でオペラは続けていくつもりです。

実は子供の頃から、バレエを習っていて18歳まで続けました。母親は(意識していなかったんですが)僕がハーフなので、身一つで人さまの前に立てるものを身につかせようとあれこれやらせたいです。演劇やジャズっぽい音楽もかじり、とても欲張りでしたね。これからも、肯定的、前向きにいろいろなことをやっていくつもりです。

column

ショスタコーヴィチは好き?

マーラー作品の演奏で非常に高い評価を得ていたマエストロが、ある時からショスタコーヴィチの交響曲を熱心に演奏するようになりました。2007年には交響曲全曲演奏プロジェクトを執行し、なんと1カ月で全曲演奏を成し遂げました。なぜショスタコーヴィチだったのでしょうか。「あるとき、ショスタコーヴィチ作品の素晴らしさに気づきました。あまり世の中で演奏されていないのでやろうと思ったんです。学生時代にはショスタコーヴィチ作品に触れる機会が少なかった。ベートーヴェン、モーツァルト、シューベルトあたりをずっと勉強していましたから。ショスタコーヴィチを知ってるっていったってせいぜい交響曲の5番、11番くらいでしょう? もっとたくさんいい曲があるんですよ」。マエストロのショスタコーヴィチ作品の演奏会に足を運び、もっと素晴らしさをわかるようになりたいと思います。

REVIEW 2012.2→4

の彩の国のアーツ

PICK UP
PLAY

3月22日～25日

『ピーター・ブルックの魔笛』

年齢85にしてブルックが挑んだモーツァルトの新作は、本拠地フランスを皮切りに世界各国を巡り、初めて会うのに以前からの友人のような親密さを携えて日本にやってきた。1台のピアノと7人の歌手、2人の俳優のみの小編成。枯れた竹林は森にも王宮にもなり、凝縮された90分間に、観る者の想像力は無限に広がっていく。素足にシンプルな衣裳の歌手たちは、ここぞというアリアはきっちり聴かせつつ、若者の成長物語と母と娘という普遍的テーマをナチュラルに演じ、類型を脱した人間ドラマをしっかりと届けてくれた。恋に恋する中年パパゲーノも愛らしい。ブルックの魔法で豊潤な時間が劇場を満たしていった。



Photo © 谷古宇正彦

MUSIC 2月25日

バッハとの対話 Vol.5 小山実稚恵の《ゴルトベルク変奏曲》

優しさの中にも強じんな意志を感じさせる小山実稚恵のピアノは、宇宙的ともいえるバッハの壮大な変奏曲を、2段鍵盤チェンバロを想定して書かれた楽譜を尊重しつつ、表情豊かに描き出した。変奏を重ねるごとに惹きこまれ、素晴らしい余韻を残すシリーズ最終回となった。

Photo © 加藤英弘



MUSIC 3月22日

埼玉会館ランチタイム・コンサート 第17回 通崎睦美の世界



国民的音楽家・平岡養一の木琴で、氏のレパートリーや名曲の数々を中心に演奏。木琴の温かく豊かな音色と平岡氏にまつわるエピソードを交えたトークは、会場を和やかな空気で満たした。アンコール曲は福島県民謡《相馬流れ山》。その祈りを込めた演奏は聴衆の心をついた。

Photo © 加藤英弘

MUSIC 3月18日

ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.17 金子三勇士

ハンガリーの偉大な二人の作曲家をメインに、リスト《スペイン狂詩曲》やバルトーク《ピアノ・ソナタ》など芸術的にも技巧的にも難度の高い作品が並ぶプログラムを披露。2011年7月のデビュー時から著しい成長が感じられる立体的な音の構成とダイナミックな演奏は鮮やかな印象を与えた。

Photo © 加藤英弘



MUSIC 3月24日

光の庭プロムナード・コンサート 第50回記念スペシャル



パイプオルガンを中心としたアンサンブルが毎回好評の無料コンサート。第50回は、バロック・ヴァイオリン、バロック・ヴィオラ、バロック・チェロ、ヴィオローネとの古楽アンサンブルによるヘンデルとバッハのオルガン協奏曲という豪華版。大勢のお客様を迎える記念の回となった。

Photo © 加藤英弘

PLAY 4月2日～21日

彩の国シェイクスピア・シリーズ 第25弾『シンペリン』

楽屋着から一瞬にして舞台衣裳に変身する幕開きで、一気にシェイクスピアの劇世界へ。墨絵や「雨夜の品定め」(源氏物語)のビジュアルも大胆に取り入れ、和と洋がクロスする蛸川幸雄ならではの表現が圧巻。客席も沸きに沸く。愛と平和の歌びにあふれる大団円では、大震災からの復興の象徴「奇跡の一本松」が登場。息をのむ衝撃と深い感動を呼んだ。

Photo © 渡部孝弘



PLAY 4月14日

彩の国さいたま寄席 四季彩亭 ～立川志らくの会

亡き師匠・談志をして「俺の狂気を受け継いでいる」と言わしめた志らく師匠が、久々にさいたま寄席に登場！ らく兵「二人旅」、志ら乃「火焰太鼓」、こしら「あくび指南」と続き、師匠は古典落語の名作「浜野短随（はまのりゆき）」。名人のダメ息子が開眼するまでを描く人情斬に、笑いながらも涙した。談志師匠へのオマージュにも感じられた名演。

Photo © 加藤英弘



MUSIC 4月21日

レ・ヴァン・フランセ



当代随一の名手たちが、木管アンサンブルの楽しさを堪能させてくれた。特に20世紀の作品での絶妙な間の取り方、表情豊かな音色は圧巻で、ブーランクの《六重奏曲》ではいつまでも聴いていたいと思わせる、喜びに満ちた心躍る演奏を繰り広げた。

Photo © 加藤英弘

MUSIC 4月24日

諏訪内晶子 ヴァイオリン・リサイタル

シューベルト、プロコフ、ファリャ、バルトーク、エネスコと、この日だけの特別プログラムが組まれ、とても民族色の濃い内容となった。ピアノのイタマル・ゴランとのやりとりは力強く、凛とした演奏に最後の一首まで会場が集中していた。

Photo © 加藤英弘



EVENT

『ピーター・ブルックの魔笛』関連企画も続々開催



公演はもちろんのこと、展示や映画の上映&トークなど、様々な会場で行われた関連企画も併せ、重層的にピーター・ブルックの世界を堪能していただく試み。多くの方々にご来場いただいた。
(写真) ①『ピーター・ブルックとシェイクスピア展』(会場: 早稲田大学坪内博士記念演劇博物館) ②『ピーター・ブルック展』(会場: 彩の国さいたま芸術劇場) ③『マハーバーラタ』特別上映+トーク(土取利行)(会場: 東京日仏学院エス・イマージュ) ④『Brook by Brook』上映+トークセッション(サイモン・ブルック×河合祥一郎)(会場: 早稲田大学小野記念講堂)

PLAY		DANCE		MUSIC		CINEMA & TALK	
開演時間	開演時間	開演時間	開演時間	開演時間	開演時間	開演時間	開演時間
5 may	18:30					5 may	18:30
15 火	13:30/18:30		臨時休館日(埼玉会館)			15 火	13:30
16 水	13:30					16 水	13:30
17 木	13:30					17 木	13:00/18:00
18 金	13:00/18:00					18 金	13:00
19 土	13:00					19 土	
20 日						20 日	
21 月			臨時休館日(彩の国さいたま芸術劇場・熊谷会館)			21 月	
22 火			臨時休館日(熊谷会館)			22 火	
23 水						23 水	
24 木						24 木	
25 金						25 金	
26 土						26 土	
27 日						27 日	
28 月						28 月	
29 火						29 火	
30 水						30 水	
31 木						31 木	
6 june						6 june	
1 金						1 金	
2 土						2 土	
3 日						3 日	
4 月			臨時休館日(彩の国さいたま芸術劇場)			4 月	
5 火			臨時休館日(熊谷会館)			5 火	
6 水			臨時休館日(埼玉会館)			6 水	
7 木			臨時休館日(埼玉会館)			7 木	
8 金						8 金	
9 土						9 土	
10 日						10 日	
11 月			臨時休館日(彩の国さいたま芸術劇場)			11 月	
12 火			臨時休館日(彩の国さいたま芸術劇場)			12 火	
13 水						13 水	
14 木						14 木	
15 金			臨時休館日(熊谷会館)			15 金	
16 土						16 土	
17 日						17 日	
18 月			臨時休館日(彩の国さいたま芸術劇場)			18 月	
19 火						19 火	
20 水						20 水	
21 木						21 木	
22 金						22 金	
23 土						23 土	
24 日						24 日	
25 月						25 月	
26 火						26 火	
27 水						27 水	
28 木						28 木	
29 金	19:00					29 金	
30 土						30 土	
7 july						7 july	
1 日						1 日	
2 月						2 月	
3 火						3 火	
4 水						4 水	
5 木						5 木	
6 金						6 金	
7 土						7 土	
8 日	12:00(昼の部)/17:00(夜の部)					8 日	
9 月						9 月	
10 火						10 火	
11 水						11 水	
12 木	18:30					12 木	
13 金	18:30					13 金	
14 土	13:30					14 土	
15 日	13:30					15 日	
16 月祝	13:30					16 月祝	
17 火						17 火	
18 水	13:30					18 水	
19 木	13:30/18:30					19 木	
20 金	13:30					20 金	
21 土	13:30/18:30					21 土	
22 日	13:30					22 日	
23 月	13:30					23 月	
24 火			臨時休館日(彩の国さいたま芸術劇場)			24 火	
25 水	13:30		臨時休館日(埼玉会館)			25 水	
26 木	13:30/18:30					26 木	
27 金	13:30					27 金	
28 土	13:30/18:30					28 土	
29 日	13:30					29 日	
30 月						30 月	
31 火						31 火	

★特に記載のないものは彩の国さいたま芸術劇場にて開催します。

3歳以上のお子さまから楽しんでいただける公演です。光の庭プロムナード・コンサートには年齢制限はありません。

PLAY

彩の国シェイクスピア・シリーズ第26弾 『トロイラスとクレシダ』

チケット発売日 一般：5月19日(土) メンバーズ：発売中

詳細は ⇒ P.3 ~6

MUSIC

ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.19 ヤン・リシエツキ

1995年生まれのポーランド系カナダ人ピアニスト。10代とは思えぬ高雅で円熟味を感じさせる演奏に期待大。

Photo © Andras Schram

チケット発売日 一般：5月26日(土) メンバーズ：5月19日(土)

日時：9月29日(土) 開演 14:00
会場：彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
曲目：メシアン/《前奏曲集》より第1~4曲 ショパン/12の練習曲 作品25ほか

チケット(税込)
一般：正面席 3,500円/バルコニー席 2,500円(学生1,000円) メンバーズ：正面席 3,200円

MUSIC

庄司紗矢香 & ジャンルカ・カシオーリ デュオ・リサイタル

鮮烈なインパクトを与える演奏で高く評価されたデュオが、オール・ベートーヴェン・プログラムを携え、再登場!

Photo © Kishin Shinoyama
Photo © Silvia Lelli

チケット発売日 一般：6月2日(土) メンバーズ：5月26日(土)

日時：10月7日(日) 開演 15:00
会場：彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
曲目：~オール・ベートーヴェン・プログラム~ ヴァイオリン・ソナタ第5番、第6番、第4番、第10番

チケット(税込)
一般：正面席 6,000円/バルコニー席 4,500円(学生2,000円) メンバーズ：正面席 5,500円

MUSIC

ピアノ・エトワール・シリーズ Vol.20 河村尚子

今、最も熱い注目を集めているピアニスト河村尚子が、満を持して彩の国デビュー!

Photo © 寺澤有雅

チケット発売日 一般：6月23日(土) メンバーズ：6月16日(土)

日時：11月25日(日) 開演 14:00
会場：彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
曲目：ベートーヴェン/ソナタ第23番「熱情」 ショパン/バラード第4番 ドビュッシー/ピアノのために ほか

チケット(税込)
一般：正面席 3,500円/バルコニー席 2,500円(学生1,000円) メンバーズ：正面席 3,200円

MUSIC

ダニエル・ハーディング(指揮) 新日本フィルハーモニー交響楽団

NHKのドキュメンタリーで深い感動を呼んだハーディング & 新日本フィル。管弦楽の極みと言えるハルサイは必聴。

Photo © Harald Hoffmann/DG

チケット発売日 一般：6月23日(土) メンバーズ：6月16日(土)

日時：12月1日(土) 開演 14:00
会場：埼玉会館 大ホール
曲目：チャイコフスキー/交響曲第4番 ストラヴィンスキー/春の祭典

チケット(税込)
一般：S席 6,500円/A席 5,500円/B席 4,500円(学生2,000円)
メンバーズ：S席 6,000円/A席 5,000円/B席 4,000円

PLAY

オックスフォード大学演劇協会 (OUDS) 『から騒ぎ』

英国の名門オックスフォード大の学生劇団が再登場! 将来の英国を代表する名優候補による「から騒ぎ」をお楽しみに。

Photo © OUDS 2012

チケット発売日 一般：6月30日(土) メンバーズ：6月24日(日)

日時：8月24日(金) 開演 19:00
会場：彩の国さいたま芸術劇場 小ホール
出演：OUDS 劇団員

チケット(整理番号付き自由席・税込)
一般 2,500円 学生 2,000円 高校生 1,000円
※英語上演/日本語字幕付

日時：9月29日(土) 開演 14:00
会場：彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
曲目：メシアン/《前奏曲集》より第1~4曲 ショパン/12の練習曲 作品25ほか

チケット(税込)
一般：正面席 3,500円/バルコニー席 2,500円(学生1,000円) メンバーズ：正面席 3,200円

PLAY

彩の国さいたま寄席 四季彩亭 ~柳家喬太郎とおすすめ若手落語会

秋の四季彩亭は、柳家喬太郎と、喬太郎おすすめ若手落語家たちの競演。どうぞお楽しみに。

Photo © 加藤英弘

チケット発売日 一般：6月29日(金) メンバーズ：6月24日(日)

日時：10月13日(土) 開演 15:00
会場：彩の国さいたま芸術劇場 小ホール
出演：柳家喬太郎、柳亭左龍、柳家甚語楼、三遊亭天どん

チケット(税込)
一般 3,000円 メンバーズ 2,700円
ゆうゆう割引(65歳以上・障がい者) 2,000円

[チケットの購入方法について]

インターネット

「SAF オンラインチケット」で、発売初日 10:00 から公演前日 23:59 まで受付いたします。

トップページの「チケット購入」からお進みください。
【PC・スマートフォン】 <http://www.saf.or.jp/>
【携帯】 <http://www.saf.or.jp/mobile/>

電話予約

●チケットセンター
0570-064-939
10:00 ~ 19:00 (彩の国さいたま芸術劇場休館日を除く)
※一部の携帯電話、PHS、IP 電話からは受付できません。

クレジットカード決済→コンビニ発券

※チケット代のほかに、[チケット一枚につき] システム利用料 135 円、店頭発券手数料 105 円が必要です。

クレジットカード決済→宅配便で配送

※チケット代のほかに、[配送1件につき] 配送料 300 円が必要です。

窓口販売

下記窓口で直接購入いただけます。電話予約したチケットの引取もできます。

- 彩の国さいたま芸術劇場 (10:00 ~ 19:00)
- 埼玉会館 (10:00 ~ 19:00) ※休館日をお確かめの上ご来場ください。
- 熊谷会館 (10:00 ~ 17:00)

現金もしくはクレジットカード決済、その場でチケットをお渡します。※手数料はかかりません。

財団メンバーズのお客様は、いずれの場合も便利な「口座引落」でのお支払い、チケットは無料配送いたします。

PLAY

『海辺のカフカ』

日時：5月3日(木)～20日(日)
 会場：彩の国さいたま芸術劇場 大ホール
 原作：村上春樹
 脚本：フランク・ギャラティ
 演出：蜷川幸雄
 出演：柳楽優弥、田中裕子、長谷川博己、柿澤勇人、佐藤江梨子、高橋 努、鳥山昌克、木場勝己 ほか
 チケット(税込)
 一般：S席 9,800円/A席 7,000円
 メンバーズ：S席 9,000円/A席 6,300円
 ※本公演は当日券のメンバーズ割引はございません。
 お支払いは現金のみとなります。予めご了承ください。

DANCE

システム カスタフィオーレ
『Stand Alone Zone
～スタンド・アローン・ゾーン』詳細は
⇒ P.10

PLAY

松竹大歌舞伎
『義経千本桜』三幕詳細は
⇒ P.7

PLAY

『しみじみ日本・乃木大将』

詳細は
⇒ P.8
-9

MUSIC

ピアノ・エトワール・シリーズ
Vol.18 エフゲニ・ボジャノフ
Vol.19 ヤン・リシエツキ
Vol.20 河村尚子
アンコール! Vol.1 ラファウ・ブレハッチ

日時：曲目
【Vol.18】 6月9日(土) 開演 15:00
 ショパン／華麗なる大円舞曲
 リスト／エステ荘の噴水、ダンテを読んで ほか
【Vol.19】 9月29日(土) 開演 14:00
 バッハ／パルティータ第1番
 モーツァルト／ソナタ第11番「トルコ行進曲付き」ほか
【Vol.20】 11月25日(日) 開演 14:00
 バッハ／『平均律第1巻』より第12番
 スクряーピン／左手のための2つの小品 ほか
【アンコール Vol.1】 2013年2月2日(土) 開演 16:00
 シマノフスキ／ソナタ第1番
 ショパン／ポロネーズ第3番「軍隊」、第4番、
 スケルツォ第3番 ほか

会場：彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール
 チケット(税込)
【4公演セット券】 一般・メンバーズ：正面席 13,500円
 ※6月8日(金)までの販売
【1回券 Vol.18～Vol.20】 一般：正面席 3,500円
 バルコニー席 2,500円(学生 1,000円)
 メンバーズ：正面席 3,200円
【アンコール! Vol.1】 一般：正面席 5,000円
 バルコニー席 4,000円(学生 2,000円)
 メンバーズ：正面席 4,500円
 ※1回券はVol.18のみ販売中
 ※4公演セット券・Vol.18のバルコニー席は
 予定枚数終了しました。

MUSIC

熊谷会館ファミリー・クラシック
夏休みオーケストラ!詳細は
⇒ P.163歳以上のお子さまから
楽しんでいただける公演です。

PLAY

彩の国さいたま寄席
四季彩亭 ～三遊亭円楽と
精鋭若手競演会

日時：6月29日(金) 開演 19:00
 会場：彩の国さいたま芸術劇場 小ホール
 出演：三遊亭円楽、三遊亭愛楽、三遊亭全楽、
 三遊亭きつぎ、三遊亭楽大
 チケット(税込)
 一般 3,000円 メンバーズ 2,700円
 ゆうゆう割引(65歳以上・障がい者) 2,000円

DANCE

Noism1 新作公演
見世物小屋シリーズ第3弾
見世物小屋シリーズ3部作完結編
『Nameless Voice
～水の庭、砂の家』詳細は
⇒ P.11
-13

MUSIC

彩の国さいたま芸術劇場ファミリー・コンサート
宮川彬良&アンサンブル・ペガ詳細は
⇒ P.16

MUSIC

埼玉会館ランチタイム・コンサート 第19回
大島文子&直子デュオ
～姉妹で紡ぐクラリネットとピアノの響き～

日時：8月28日(火) 開演 12:10
 会場：埼玉会館 大ホール
 曲目：ブーランク／クラリネット・ソナタ
 山田耕筰／赤とんぼ、からたちの花 ほか
 チケット(税込)
 全席指定 1,000円

THEATER BRIDGE

INFORMATION

熊谷会館バレエ・セミナー受講生募集!

バレエを学ぶ子どもたちや指導者の皆さまから、
 毎年ご好評をいただいている「熊谷会館バレエ・
 セミナー」。日本を代表する現役トップダンサー、
 振付家を講師に迎え、クラシックバレエの基礎
 からさらに一歩先の表現へ。伸びやかに踊る力
 を身につけ、バレエ表現を豊かに広げましょう!



©NOMO

講師：中村恵恵(ダンサー・振付家)
 酒井はな(新国立劇場オノラブル・ダンサー)

日時：8月20日(月)～22日(水)

- 各日 13:00～15:00 上級：酒井はなクラス
 《クラシックバレエの基礎レッスン&クラシックヴァリエーション》
 ※ヴァリエーション：『ジゼル』第1幕より『ジゼルのヴァリエーション』
- 各日 15:30～17:30 上級：中村恵恵クラス
 《近代のレパートリーを踊るための基礎レッスン&小品》
 ※3日間(全6クラス)の講習です。特定クラスのみ受講や、2日間のみ受講
 はできません。
 ※酒井はなクラスは基礎レッスン、ヴァリエーションともに、トゥシューズでレッス
 ンを行います(男子はバレエシューズ)。男子はセンターレッスンまで受講いただけます
 (ヴァリエーションレッスン見学可)。

会場：熊谷会館 ホール舞台上

対象：小学5年生～大学生(22歳)/クラシックバレエの経験5年以上

定員：25名

受講料：15,000円/3日間(男子10,000円)

【応募方法】 返信用封筒(長3封筒に、①80円切手貼付 ②郵便番号・住所・氏名を記入)
 を同封の上、応募用紙に必要事項をご記入いただき、封書でご郵送ください。なお、応募多
 数の場合は抽選とさせていただきます。

【応募用紙】 下記のいずれかの応募用紙でご応募ください。

- 「熊谷会館バレエ・セミナー」チラシ裏面の応募用紙
- 財団ホームページ(<http://www.saf.or.jp>) からダウンロードした応募用紙
- A4サイズの用紙に顔写真を貼付し、①氏名(フリガナ) ②生年月日 ③年齢 ④学年 ⑤性別
 ⑥郵便番号・住所 ⑦電話番号・メールアドレス ⑧バレエの経験年数 ⑨所属教室・バレエ団
 ⑩応募理由

【応募締切】 7月10日(火) 当日消印有効

【応募結果】 7月20日(金) までに応募者全員へ郵送でお知らせします。

【応募・お問合せ先】

〒338-8506 埼玉県さいたま市中央区上峰 3-15-1
 (公財) 埼玉県芸術文化振興財団「熊谷会館バレエ・セミナー」係
 TEL. 048-858-5506 事業部 舞踊担当

INFORMATION

駅から劇場までの空間を
「アートストリート」に!

JR 与野本町駅から彩の国さいたま芸術劇場までの空間が、さいたま市により「アート
 ストリート」として整備されます。その第1弾として、たつみ通り沿いの与野西中学校
 校門前に、蜷川幸雄芸術監督と「彩の国シェイクスピア・シリーズ」に出演された俳優
 など6人の【手形レリーフ】が設置されました。是非お立ち寄りください!!

INFORMATION

蜷川幸雄公開対談シリーズ
NINAGAWA 千の目第25回 in 熊谷

歌舞伎俳優 尾上菊之助 演出家 蜷川幸雄

尾上菊之助×蜷川幸雄



おのえ・きくのすけ◎1977年生まれ。七代目尾上菊五郎の長男。
 84年2月歌舞伎座『絵本牛若丸』で六代目尾上丑之助を名乗り
 初舞台。96年5月歌舞伎座『弁天娘女男白浪』の弁天小僧菊之助
 ほかで五代目尾上菊之助を襲名。現代演劇の分野でも、蜷川幸雄
 演出の『グリークス』でオレスティス役を演じ注目を集める。05年には
 『NINAGAWA 十二夜』を実現させ、獅子丸、主膳之助、琵琶姫の三役
 を替わり、読売演劇大賞杉村春子賞、朝日舞台芸術賞寺山修司賞、
 芸術選奨文部科学大臣新人賞など多数受賞。近年【加藤先代萩】の
 政岡、「撰州合邦辻」の玉手御前など女方の大役をつとめるとともに、
 「京鹿子娘道成寺」、「春興鏡獅子」などの舞踊、また「髪結新三」の
 勝奴、「入谷」の直侍など立役にも意欲的に取り組んでいる。

日時：6月23日(土) 開演 12:00(約1時間)

会場：熊谷会館

定員：1,176名(全席自由・入場無料・要事前申込)

※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。なお、入場券の発送をもって
 抽選結果の発表にかえさせていただきます。

※財団メンバーズの方への優先枠を設けております。

【応募方法】 ハガキ以下の事項をご記入の上、締切日までに応募く
 ださい。

- ①郵便番号・住所 ②氏名(フリガナ) ③年齢
- ④会員番号(財団メンバーズの方のみ記入)
- ⑤希望人数(1枚のハガキで2名様まで)

【応募締切】 6月8日(金) 必着

【応募・お問合せ先】

〒338-8506 埼玉県さいたま市中央区上峰 3-15-1
 (公財) 埼玉県芸術文化振興財団「千の目 6/23 入場募集」係
 TEL. 048-858-5507
 メンバーズ事務局(彩の国さいたま芸術劇場 休館日を除く)

彩の国シネマスタジオ LINE UP 2012.6→8



『ピアノマニア』©OVAL Filmemacher/WILDart FILM

6月8日(金)～10日(日)

会場：彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール

A.『ピアノマニア』
B.『木を植えた男』『大いなる河の流れ』
『クラック!』『トゥ・リアン』

8日(金) 10:30(A)/13:20(B)/15:50(A)/18:30(B)
 9日(土) 9:50(B)/12:00(A)/15:20(B)/18:00(A)
 10日(日) 10:00(A)/12:40(B)/15:00(A)/17:30(B)

※9日(土) 12:00上映回終了後、
 サウンド&ヴィジュアル・ライター
 前島秀国氏によるアフタートーク
 があります。

『ピアノマニア』(2009年/オーストリア・ドイツ/97分)
 監督：リリアン・フランク、ロベルト・シビス
 出演：ピエール＝ロラン・エマル、シュテファン・クニツプファー ほか
 料金：大人1,000円 小中高生800円(当日支払いのみ)

『木を植えた男』(1987年/30分)『大いなる河の流れ』(1993年/24分)『クラック!』(1981年/15分)
 『トゥ・リアン』(1978年/11分) 監督・脚本・原画：フレデリック・バック
 料金(4作品セット)：大人1,000円 小中高生800円(当日支払いのみ)



©2011『あわせのパン』製作委員会

8月10日(金)～12日(日)

会場：彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール

『あわせのパン』

監督・脚本：三島有紀子
 出演：原田知世、大泉 洋 ほか (2011年/日本/114分)
 料金：大人1,000円 小中高生800円(当日支払いのみ)



『海洋天堂』©2010, Nice Select Limited. All Rights Reserved.

7月20日(金)～22日(日)

会場：彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール

中国映画特集
A.『海洋天堂』
B.『孔子の教え』

20日(金) 10:30(A)/13:00(B)/16:20(A)/18:50(B)
 21日(土) 10:00(B)/13:10(A)/15:40(B)/18:40(A)
 22日(日) 10:00(A)/12:30(B)/15:20(A)/17:45(B)

※20日(金) 13:00上映回終了後、映画評論家・石子 順氏に
 によるアフタートークがあります。

『海洋天堂』(2010年/中国・香港/98分)
 監督・脚本：シュエ・シャオルー 出演：ジェット・リー ほか
 料金：大人1,000円 小中高生800円(当日支払いのみ)

『孔子の教え』(2009年/中国/125分)
 監督：フー・メイ 出演：チョウ・ユンファ、ジウ・ジュン、チェン・ジエンピン ほか
 料金：大人1,000円 小中高生800円(当日支払いのみ)



©Imamura Productions

8月20日(月)

会場：埼玉会館 小ホール

『黒い雨』上映会 +
アーサー・ピナード氏講演会

監督・脚本：今村昌平
 出演：田中好子、北村和夫、市原悦子、三木のり平 ほか (1989年/日本/123分)
 料金(映画・講演とも)：各大人1,000円 小中高生800円(当日支払いのみ)

ACCESS MAP アクセスマップ

【彩の国さいたま芸術劇場】



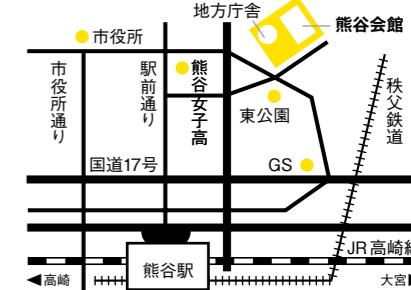
〒338-8506 埼玉県さいたま市中央区上峰 3-15-1
 電話：048-858-5500(代) ファックス：048-858-5515
 ●電車でのアクセス
 → JR 埼京線と野本町駅(西口)下車 徒歩7分
 ●バスでのアクセス
 → JR 京浜東北線北浦和駅から西武バス大久保行き
 「彩の国さいたま芸術劇場入口」下車 徒歩2分

【埼玉会館】



〒330-8518 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-1-4
 電話：048-829-2471(代) ファックス：048-829-2477
 ●電車でのアクセス
 → JR 京浜東北線浦和駅(西口)下車 徒歩6分

【熊谷会館】



〒360-0031 埼玉県熊谷市末広 3-9-2
 電話：048-523-2535(代) ファックス：048-523-2536
 ●電車でのアクセス
 → JR 高崎線熊谷駅(北口)下車 徒歩15分

※駐車台数に限りがありますので、ご来場の際はなるべく公共交通機関をご利用ください。

サポーター会員

(公財) 埼玉県芸術文化振興財団は、演劇、ダンス、音楽を中心に、この劇場でしか見られない最高の作品を提供できるよう、蜷川幸雄芸術監督のもと、作品づくりに努めています。こうした財団の活動にご理解、ご支援をいただいているのが(公財) 埼玉県芸術文化振興財団サポーター会員の皆様方です。

(株) 与野フードセンター / (株) 亀屋 / 武州ガス(株) / (株) 松本商会 / (有) 香山壽夫建築研究所 / 埼玉新聞社 / (株) テレビ埼玉ミュージック / 埼玉りそな銀行
(株) パシフィックアートセンター / (株) アサヒコミュニケーションズ / FM NACK5 / 東京ガス(株) / カヤバ システム マシナリー (株) / (株) タムロン / (株) 十万石ふくさや
森平舞台機構(株) / 東芝エルティエーエンジニアリング(株) / 埼玉トヨタ自動車(株) / (有) 齋賀設計工務 / ゲレッツ・ジャパン・スズゼン(株) / 武蔵野銀行
浦和ロイヤルバインズホテル / (株) アルピーノ / 国際照明(株) / (株) サイサン 会長 川本宜彦 / 三国コカ・コーラボトリング(株) / 埼玉スバル自動車(株) / 桶本興業(株)
(株) 佐伯紙工所 / (株) 太陽商工 / (株) しまむら / アイジャパン(株) / (有) 六辻ゴルフセンター / 不動開発(株) / ビストロ やま / 埼玉縣信用金庫 / (株) 栗原運輸
彩の国SPグループ / (有) プラネッツ / 関東自動車(株) / (株) クマクラ / (株) デサン / (株) 中島運輸 / セントラル自動車技研(株) / (株) アズマン / 丸美屋食品工業(株)
ボラスグループ / ひがし歯科 / 埼玉トヨペット(株) / 公認会計士 宮原敏夫事務所 / (株) 価値総合研究所 / (株) 埼玉交通 / 医療法人 顕正会 蓮田病院 / (株) ウイズネット
サイデン化学(株) / アイル・コーポレーション(株) / 五光印刷(株) / 旭ビル管理(株) / ヤマハサウンドシステム(株) / (株) エヌテックサービス / (株) クリーン工房
(株) つばめタクシー / (株) サンワックス / (株) 総合舞台 / (株) タクトコーポレーション / 広総業(株) / (財) さいたま住宅検査センター / (株) コマム / (株) 国大セミナー
(株) NEWS エンターテインメント / (株) オーガス / イープラス / 六三四堂印刷(株) / 医療法人 榎会 林整形外科 / 埼玉県整形外科医会 / 医療法人社団 山粋会 山崎整形外科

H24.4.15 現在 / 一部未掲載

【問合せ先】(公財) 埼玉県芸術文化振興財団 営業宣伝課 サポーター会員担当 TEL 048-858-5507

Nameless Poison



Nameless Hands

Noism 1

SAITAMA ARTS THEATER PRESS 2012.5-6

平成 24 年 5 月 15 日発行 39 号 (隔月 15 日発行) 第 39 号 (5 月 - 6 月)

発行人: 竹内文則 発行: 公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団

〒338-8506 さいたま市中央区上峰 3-15-1 TEL.048-858-5500